

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により行う。

- (1)審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ競技者はその指示に従わなければならない、明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

競技用靴・靴底の厚さに関する規定 (TR5.2) の一部【2024年10月31日まで有効】

トラック種目(800m以上の種目、障害物競走を含む)の靴底の最大厚さは25mm

重要告知 競技用靴に関する規程5.3に従い、2024年11月1日以降、靴底厚が下記の表に記載されている。

最大の厚さを超える既存靴は承認されなくなり、対象競技会では着用できなくなる。

【2024年11月1日から有効】

種目	ソールの最大厚さ
トラック種目	20mm
ハードル種目	スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ
障害物競走	

- (2)競技エリア内でスマートフォン等の通信機器や録画再生機器等を所持・使用することはでない。(TR.6.3.2)
- (3)当該種目出場の競技者以外は、競技区域に立ち入ることができない。また、競技者は招集完了後競技終了まで、当該競技役員の許可なく競技区域から離脱してはならない。

2 競技場の使用について

- (1)競技者・付添等の関係者は競技場の北門・南門から入退場すること。陸上競技場から体育館へ通じる通路または体育館内フロア周辺への場所取りは禁止する。他の競技団体も使用しているためトイレ・更衣以外は本部の許可がない限り入らないこと。
- (2)横断幕、ノボリの設置はすべて禁止する。
- (3)テントの設置について ①正面の階段スタンドには設置しないこと(学校単位での場所取りは禁止)。
②テントは芝生スタンドに設置し、ロープ等が通路にかからないようにすること。
- (4)使用した場所は各学校で責任を持って清掃しゴミ等は必ず持ち帰ること(帰路や体育館・競技場内で捨てない)。
- (5)トラック以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (6)更衣室は更衣のみの利用とし1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

3 練習について

- (1)競技開始前の競技場(トラックのみ、トラック内の芝生は立入禁止)での練習は、周囲の動きに十分注意して行うこと。練習中の走る方向は競技会と同じ方向への一方通行とする。なお、競技場内練習が可能な時間内であっても、競技会準備が優先であるので競技役員の指示に従うこと。競技場内での練習は8時55分までとする。
- (2)競技開始後の練習は、ウォーミングアップエリア(競技場北東の野球場外側)等の競技場外で行うこと。その際、他の公園利用者との接触事故等が起こらないよう、十分注意して行うこと。

4 招集について

- (1)招集は現地招集とする。招集時は招集場所周辺での走者への声援は止め、競技役員の指示に従うこと。
- (2)腰ナンバーは南役員室前の配布場所に各自で取りに行く。ただし、枚数を十分に用意できないので、取りに行くのは競技開始時刻の1時間前以降とする。
- (3)腰ナンバーは、1枚だけ取り、パンツ右側のやや後方に数字がよく見えるようにつける。
- (4)競技開始時刻の15分前にスタート地点付近に集合する。その際、競技服装になり(胸・背のアスリートビブスおよび腰ナンバーを付けていること)、競技で使用するシューズ(またはスパイク)のチェックを受ける。スパイクを使用する場合、スパイクのピンの本数は11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。また、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (5)競技開始時刻の5分前になっても現地にいない競技者は、出場する意思がないものとみなし処理をする。
- (6)やむなく欠場する場合は、できるだけ速やかに「欠場届」を大会本部(南役員室)に提出すること。

5 競技について

- (1)当該種目出場者以外は競技エリアに立ち入ることはできない。
- (2)スタート位置にはプログラム記載順に並ぶ。男5000m、男女3000mはグループスタートとする。
- (3)フィニッシュは3レーンより外側とする。その後、腰ナンバーを必ず南役員室前の配布場所へ返却すること。
- (4)競技の進行に支障が出る場合や、明らかな体調不良が認められる選手は、レースを打ち切ることがある。
- (5)競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。ただし、この競技会では、給水を各学校で行うことを許可する。給水エリアは第2コーナーからバックストレートの4レーンより外側とし、並走してはいけない。また、競技運営に支障があれば、エリアでの行動を制限または禁止する。
- (6)競技中の連呼応援は、競技役員の指示が聞こえない等の弊害が起こる可能性があるため、応援のマナーとして自粛すること。

6 その他

- (1)顧問の受付がない学校の競技者は、出場を認めない。なお、競技役員の昼食の準備はありません。
- (2)受付は南役員室で行う。その際、参加料と参加選手一覧表(校長印押印済み)を提出すること。
- (3)競技中に生じた事故については、一切の責任を負わない。本部で応急処置のみ行う。
- (4)競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- (5)Jアラート、警報等が発令された場合や発雷時には、競技を中断・中止する場合がある。その際、参加料の返金はしない。
- (6)プログラムや欠場届等の各種用紙は配布しないので各校で印刷準備すること。
- (7)競技日程はプログラム記載のものを確認すること。HPにUPされているスタートリストの競技開始時間は参考なので、必ず競技日程を確認すること。
- (8)記録は、WEBページまたは南役員室西側壁面の掲示で確認すること。
- (9)盗難の発生や忘れ物に注意し、貴重品を含む持ち物の管理は各校・各自の責任で十分に注意すること。
- (10)プログラム記載の個人情報(氏名・学校名など)および大会結果は、新聞および大阪陸上競技協会のWEBサイト(大阪高体連陸上競技部専門部)に記載されるが、本大会関係以外には一切使用はしない。